

平成20年度第1回サイバー・キャンパス・コンソーシアム教育学グループ運営委員会議事概要

I. 日 時： 平成20年7月23日（水）午後1時30分から午後3時30分まで

II. 場 所： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 難波委員、三尾委員、竹熊委員(IV会議参加)
井端事務局長、森下、恩田

IV. 議事概要

1. 本年殿活動について

事務局より、「教員振興基本計画（抜粋）」平成20年7月1日についての説明がなされた。

この中で、「社会の信頼に応える学士課程教育等を実現する」ために、“求められる学習成果を確実に達成するため（中略）卒業認定も含めた厳格な成績評価システムを導入するよう支援する。”、“優れた取組を行っている大学等を支援する”、“教員の教育力の向上のための拠点形成とネットワーク化を推進するなど、（中略）枠を超えた質保証の体制や基盤の強化を支援する”等が示されており、“学生が共通に身につける学習成果については、国際的通用性の確保にも留意しつつ、（中略）学生成果や到達目標の設定などの取り組みを促す”等が大学に要請されている。

このように大学学士課程について、教育の内容・方法にまでの国の方針が示されたことを受けて本年度、本委員会では「教育学固有の学士力」を検討することとした。

2. 学士力についての意見交換

○ 「鶏の絵を描かせると足を4本として描く」学生がいる。場合によっては増えている傾向にあるともいえる。知識のみであり、実際、現実を知らない学生が増えているのか。

○ 学士力として、議論やコミュニケーション能力、自らを振り返る力、教養教育が共通するものとしてあるだろう。さらに、それを育成する授業の工夫とその交流が必要である。

・例 大学授業の中で、班活動、発表を可能な限り盛り込む工夫。

授業者は、学生の提出物に肯定的なコメントをするように心がけ、自信をつけさせるとともに、学生に他者に対する応答の重要性を認識させ、共学精神の育成にも効果を期待している。

○ 我が国の大学教育での課題として、科目間の交流が薄いため、学生にとっての学修の連続性を保証することにあるのではないか。そのためにも、教員間の連携をさらに深めるが必要であろう。

○ 近年の教育界を巡る様々な事件、不祥事を見て、学生に対しての教育者としての心の教育は、どのようなになっているかについて考えることが必要になっている。大学教育の目的の1つである人格の陶冶にどの程度取り組んでいるかなど。

○ 教育学の学士課程在籍学生の教員免許取得目的の有無と、取得目的であっても教職志望の程度の差もあることも考慮する必要がある。

さまざまな意見交換のなかで、実践学としての教育学と学問としての教育学という立場の違いで学士

力の考え方にも相違がでてくる。そこで、特徴を出すために、本グループでは、教育における学士力という観点から以下に整理してみた。

(1) 自らを律する力、自律

その内容は、当たり前のことのできる、人の言葉を素直に受け止めることができるなど。大学教育においては、まず、その重要性、必要性を学ばせることが重要。

(2) 自己成長、自主的主体的に学ぶ姿勢

変わっていく自分に気づき、喜びを感じる。

(3) 人（生徒）を引きつける力（魅力）

教育学の知識をもつだけでなく、教育的配慮ができるとともに、相手の成長が見てわかる。（パフォーマンス力：教師として、創意工夫のある授業をするために生徒を引きつけるパフォーマンス力、創意工夫する意欲）

(4) 教えることの責任感

教えるという責任感、義務感。

(5) 教えることの充実感を実感。

単に、教えたことが伝わることを喜ぶのではなく、相手が変わったことを認識し、充実感をもつことができる。同時に、共に学ぶことの喜びと意義についての認識も必要

これらについて、教育学関連の授業者は、そのための工夫を行う必要がある。さらに、これらの手本となる態度をしなければならない。

3. まとめ方

以上の意見を踏まえ、分野固有の「学士力」について以下のように検討を進めることにした。

○ 大学教育現場での学士力について、

- ① 委員会としての意見をまとめる。
- ② 私立大学情報教育協会に登録されている教育分野の教員670人（サイバーFD 研究員）の意見を聞く
- ③ さらに、現場の声として、社会人の声を取り組みたい。

このステップで、「学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)」（平成20年3月25日）の共通の「学習成果」に関する参考指針を参考に端的で簡潔な表現で、各専門領域の学士力の特徴を1能力につき1、2行の分量で追加する記述を考えたい。

4. 今後の進め方

今後の活動としては

- ① 7月中に本日検討の「教育に関する学士力」をまとめる
- ② 8月中には「教育に関する学士力」の（案）を運営委員間でまとめる。

- ③ 9月には(案)を確定させ、本協会の教育学グループに登録している教育分野の教員670人(サイバーFD 研究員)の意見を求めていきたい。

5. 次回委員会

日 時：平成20年9月5日(金) 15:00~17:00

場 所：私立大学情報教育協会 会議室